EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER : 61055034

PUBLICATION DATE : 19-03-86

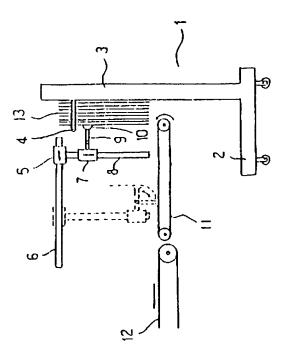
APPLICATION DATE : 22-08-84 APPLICATION NUMBER : 59173250

APPLICANT: HITACHI LTD;

INVENTOR: FURUKAWA KIYONORI;

INT.CL. : B65H 3/08

TITLE : THIN PLATE FEEDING DEVICE



ABSTRACT :

PURPOSE: To change direction smoothly by making the moving speed of a vertically moving device for a rod having adsorbing device and the turning speed of said rod equal to the conveying speed of a conveyor belt, in a feeding device for a board-like object with a smaller board thickness such as a printed-wiring board.

CONSTITUTION: A thin plate 13 is adsorbed by an adsorbing device 10 and a horizontally moving device 5 is moved to separate one sheet of the thin plate 13 from a guide bar 4. Then, a vertically moving device 7 is lowered. The lowering speed at this time is equal to the moving speed of a conveyor 11. And, thereby, the lower end of the thin plate 13 starts to be conveyed at the same time it is brought in contact with the conveyor 11. The vertically moving device 7 is stopped when it is lowered to position while, at the same time, its rod 9 is turned around its shaft at the samd speed as the speed of the belt conveyor 11, is vertically positioned with respect to the conveyor 11, and its adsorption is released. Thereby, the change in direction and the conveyance of the thin plate 13 can be smoothly carried out.

COPYRIGHT: (C)1986,JPO&Japio

① 特許出願公開

⑫ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭61-55034

௵Int Cl.⁴

織別記号

庁内整理番号

43公開 昭和61年(1986)3月19日

B 65 H 3/08

7456-3F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全3頁)

公発明の名称 薄板の供給装置

②特 願 昭59-173250

渚 則

②出 願 昭59(1984)8月22日

⑩発明者 古川

秦野市堀山下1番地 株式会社日立製作所神奈川工場内

⑪出 願 人 株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台4丁目6番地

20代 理 人 弁理士 高橋 明夫 外1名

on as an

1. 発明の名称

薄板の供給裝置

2. 特許請求の範囲

3. 売明の詳細な説明

(発明の利用分野)

本売明は、板状物体の胎造供給数置に係り、特

に電子部品としてのプリント 拡板など板厚の小さい板状物体の強送供給に好適な鞭板の供給製配に関する。

(発明の背景)

電子部品用のプリント基板又は銅弧り積型板等の密板を、種々の加工のために取り出して供給する装置は、いろいろなものが変出され、実用化されている。

第3回に示すものも、その1つである。簡単に 説明すると、薄板10を台20上に何枚か積み重 ねておき、真空吸引数置30により台20上の等 板を1枚ずつ吸引し、これをコンベア10に鍵配 供給する。この数置によると、薄板を積み重ねた 状態にしておくため、薄板に付着したゴミが伸び 品においては、好ましくない。また、薄板を がはたするとき、その表面が接触し合って低つ を易いなどの発点を有していた。

(発明の目的)

本苑明の目的は、以上のような状況に謂み、彼

取送物である溶板を延直に保持して運搬すること により、ゴミの付着やすり合せによる損傷を与え ない溶板の供給装置を提供することにある。

(発明の假要)

٠:

(発明の実施例)

第1回及び第2回は本発明の一実施例を示した もので、第1回は斜視回、第2回は側面図である。 1は巡搬台車で、接台2及び設基台に重直に立設 された壁体3及び設壁体に直角に植設された複数

なお、水平移動装置や垂直移動装置の駆動機構は詳述していないが、これは、例えば各移動装置の側面に直流モーターを取りつけ、ギヤのかみ合せによって各移動装置をガイド軸に沿って移動させてもよく、また槓杆の曲折は、例えばペンシリンダ駆動によるなど、いずれも任意に行うことができる。

さらに、上記と逆の動作により、水平順送され た液板を重直に保持する受け取り数置も実現でき かかる装配の作用を第2図を中心に述べると、 薄板13の搬送供給には、ある程度上下移動装設 7を上方に位置させた状態で吸着装配10で薄板 13の表面を吸着し、続いて水平移動装置5を薄板の懸架位置から遠ざかる方向へ移動させ、薄板 を1枚だけガイド移から分離する。次に、垂直移

ప.

(発明の効果)

本元明によれば、恋板状の被腹送物を重直に保持しておき、旋送時には 1 枚づつ水平にするので、ゴミの付着や額み重ねによる原原根傷がないばかりか、垂直な保持状態から水平な移動状態への移行が、全て水平移動ベルトコンベアの速度に同間して行われるため、薄板に無理な力を加えることなく、スムーズでそれだけ薄板に異常応力を残すおそれもない。

4. 図面の簡単な説明

第1図及び第2図は本苑明の実施例を示す図、 第3図は従来装置をそれぞれ示す。

1 … 運搬台車、 2 … 基台、 3 … 壁体。

1 … ガイド協、 5 … 水平移動装置、

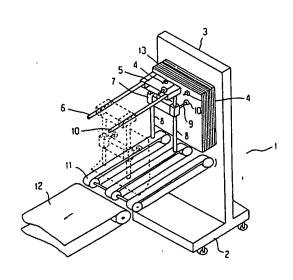
G … ガイド軸、 7 … 垂直移動装置、

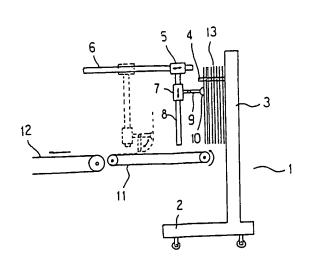
8 ··· ガイド軸、 9 ··· 根杆、 10 ··· 真空吸着 装匠、 11及び12 ··· ベルトコンベア、

13…被做选薄板。

代理人弁理士 髙 橋 明 夫







第 3 図

